

トランスワールド実務人材養成プログラム

トランスワールド実務人材養成プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02AP001	特別研究I	3	6.0	1・2	通年	随時	研究室	渡邊 和男, 張 振 亜, 小野 道之, 北 村 豊, 中村 幸治, 吉田 滋樹, 繁森 英幸, 中島(神戸) 敏明, 楊 英男, 山 田 小須弥, 内海 真生, 野村 名可 男, 菊池 彰	生命産業科学の各専門領域に関する実験、調査、 データ解析手法を具体的事例に即して習得させ、 博士論文作成の指導を行う。	その他の実施形態 原則対面だが、状況に よってオンラインで行 うこともある
02AP002	特別研究II	3	6.0	1 - 3	通年	随時	研究室	渡邊 和男, 張 振 亜, 小野 道之, 北 村 豊, 中村 幸治, 吉田 滋樹, 繁森 英幸, 中島(神戸) 敏明, 楊 英男, 山 田 小須弥, 内海 真生, 野村 名可 男, 菊池 彰	生命産業科学の各専門領域に関する実験、調査、 データ解析手法を具体的事例に即して習得させ、 博士論文作成の指導を行う。	その他の実施形態 原則対面だが、状況に よってオンラインで行 うこともある
02AP003	生命産業科学特論	1	2.0	1	春AB	木7, 8	生農 G501	粉川 美踏, 渡邊 和男, 中村 幸治, 徳納 吉秀	生命産業を支える最新のバイオ科学技術の研究・ 技術動向について論じる。生物資源の産業利用に 必須な国際取引や規制対応、技術移転等におい て、生命倫理や多様性保護との関係を俯瞰しつ つ国際的な課題解決を図る能力を身につける。ま た、母国や出身母体、研究分野の異なる多様な人 材との積極的な交流と議論を促す。これを通して 国際感覚を磨き、グローバルな課題について柔軟 に対応できる能力を身につける。	OBNM011と同一。 主専攻必修科目 オンライン(同時双方 向型)
02AP006	グローバル・ヒューマン・セキュリティー ディベート演習	2	2.0	1	秋ABC	木7, 8	生農 G501	TPHRD運営委員教 員	プログラム参加の学生が共通の理解を醸成し、 個々の研究課題との位置付けを認識することを目 的とする。食料保障が世界レベルで相互依存と なっていることへの理解を深め、世界のフードセ キュリティと天然資源持続性について国連の SDGs(Sustainable Development Goals)達成に関 連付け、多様な方向性と施策を世界規模で議論す る。特に、対処課題として激変する環境変動や水 資源や土地等の生産資源の持続性について認知 し、諸国で重要度の高い農業機械の利用、産物の 保蔵加工、農業生産の総合管理(特にIPM, integrated pest management)及び育種につい て、プログラム参加学生個々の研究課題と深く関 連付けつつ幅広い知見の理解を醸成させる。	02AL403, 02AM404, 02AN403, 02AS510, 0BNM901と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 Face-to-face meetings in principle, but may be done online depending on circumstances.
02AP007	グローバル・ヒューマン・セキュリティーイ ンターンシップ	3	1.0	1	通年	応談		TPHRD運営委員教 員	グローバル・ヒューマン・セキュリティーディ ベート演習を通して得た理解を基盤として、トラ ンスワールド実務人材養成プログラムの主題であ る食料保障と天然資源管理への貢献について、 個々の学生が調査課題を起案設定し、課題調査を 行い、報告会にて報告を行う。特に、筑波大学協 定校や海外事務所の支援に基づき、海外での調査 を勧奨する。調査のための旅費等は、大学の海外 派遣資金による支援を行う。 (通年1年春学期ABC-2年秋学期ABC):10月入学のため	グローバル・ヒューマン・セキュリティー ディベート演習の単位 取得後、履修するこ と。 02AL404, 02AM405, 02AN404, 02AS511, 0BNM902と同一。 英語で授業。 その他の実施形態